

○ 車両規則書 ○

○ 基本仕様(参加車両の最低限ルール)

車両規則書に記入が無い改造・交換はできません。

① 保安部品

ウインカー、ミラー、テールライト、スタンド、タンデムステップは取り外してください。

エンジンのキルスイッチを必ず設けること(バンドルクリップを握ったまま操作が出来ること)

② タイヤ

スリックタイヤの使用禁止

③ ボディーワーク

追突や接触時の危険を避ける為、車両の一部がリヤタイヤの最後端より後に出ないようにしてください。

ハンドルを左右いっぱいにきった時、タンクやカウル等と指をはさまないようにしてください。

フルカウル車両のフロントフェンダー取り外しは出来ませんが、フルカウル非装着車両の場合は、フロントフェンダーは必ず付けてください。

4stクラス車は必ずオイル受け(オイル溜まり)を設けること(ドリームSunday レースは推奨)

同メーカーのタンク流用はOKとする。但し取り付けの際、ステイなどはボルト固定のみとする。フレーム切断・溶接などの取り付けはNG

※燃料タンクの変更・加工は一切できません。(GP100・S12クラスは除く)

④ 突起物

車両にライダー等を傷つける恐れのある突起物(尖ったレバー、破損して鋭利になった部分)がないように気を付けてください。

⑤ チェーンガード&スプロケットガード

全車にチェーンガード&スプロケットガード(フロント及びリア)の取り付けを義務付けます、チェーンガードについては、メーカー純正で装着されているもので十分です。

⑥ ゼッケン

フロントゼッケン・サイドゼッケン3面に出来るだけ大きく見やすい数字のものををご用意ください。

※リアシート形状により、左右のゼッケンを張るのが、困難な場合は、車両の後方から見て分かるように、シートカウル上部ゼッケンを付けてください。また、アンダーカウルの後端左右にサポートナンバーをつけてください

ゼッケン色・ゼッケンベース色の指定はありません。但し番号が分かりやすい色にしてください。

⑦ オイルキャッチタンク

オイルキャッチタンクを必ず装着してください。※転倒時に容易に外れたりしないよう固定してください

⑧ ガソリンキャッチタンク

ブリーザー付燃料タンク及びキャブレターに必ず装着してください。※キャッチタンク中を空にしておくようにしてください。

⑨ オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

ワイヤーロックをしてください。又、フィルターキャップをブリーザーチューブ等に装着するために変更している場合は、ホース等が容易に外れないように固定してください。

⑩ 加工・変更可能な部品

オイルポンプ・クラッチ・ミッション・スプロケット・チェーン・ブレーキ関係

キャブレター&インジェクション、セッティングパーツ・エアークリーナBOX・ラジエター

※SP100 IIはキャブレター&インジェクションの変更は不可(セッティングのみ)

フロントフォーク・スタビライザー・リアサス・ハンドル・レバー・ステップ

純正ミニバイクフレームに同メーカーの純正エンジン交換可(NSRIにエイブ用エンジンに変更等)

※取り付けの際は、最小限のフレーム加工等は可

※エンジン取り付けで、安全上問題が有ると判断された場合は走行できない。

ハンドル・ステップ・電装パーツ類(CDI・プラグ・プラグコード・発電装置・バッテリー・計器類)

NSR50とNSF100の総合利用は可、但し、安全上問題が有ると判断された場合は走行できません。

チタンボルト合金の使用可、但し、安全上問題が有ると判断した場合は使用禁止とする。

⑪ その他

タイヤウォーマー使用はOKです。

大会開催中に重要部品交換時は再車検を受けること

※重要部品とは、タンク・エンジン・フレーム等

S12クラス(スプリントのみ)

① エンジンパーツ関係の加工・排気量UPはできますが、安全上問題が有ると判断された場合は走行できません。

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・カムシャフト・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。

② キャブレター・フロントフォーク・マフラー・チャンバー・サイレンサー・ミッション・エアークリーナーBOX・リアサスの加工・交換ができます。

③ 排気量UPは125cc以下までです。

④ オイルクーラーの取り付けはできます。

⑤ フレーム変更はできますが、安全上問題が有ると判断された場合は走行できません。

⑥ フロントサスペンション交換・加工することが出来る。

⑦ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること

⑧ ホイルサイズは12インチ以上

2st—SP50クラス

① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません。 ※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・シリンダー・クランク・クランクシャフト、リードバルブです。

② マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

③ 排気量UPは出来ません。(50cc)

④ ミッション・エアークリーナーBOX・リアサスの交換が出来ます。

⑤ フロントサスペンションのオイルおよび突き出し量の変更、車高調整する為のカラーを追加することが出来る。

⑥ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること。

4st—SP100クラス

① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません(同メーカー、同形式の純正パーツ流用はOKです。)

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・カムシャフト・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。

※純正カムの流用は可(XR80・エイブ100・エイブ50・XR100・NSF100の流用可)

② キャブレター・マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

③ 排気量UPは100cc以下までです。

④ オイルクーラーの取り付けはできます。(取り付けの為の、オイルポンプ&Rカバー交換 オイル通路加工もOK)但し、シリンダー交換タイプはNG

※エンジン保護目的のシャワーヘッドカバー等の取り付けはOKです。

⑤ 横型エンジン(モンキー GAGなど)は、GT100の車両規定でSP100とする。

⑥ ミッション・エアークリーナーBOX・リアサスの交換が出来ます。

⑦ フロントサスペンションのオイル・スプリングおよび突き出し量の変更、車高調整する為のカラーを追加することが出来る。

⑧ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること

4st—SP100 IIクラス

① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません(同メーカー、純正パーツ流用はOKです。)

※カムの流用例 XR80・エイブ100・XR100・NSF100の流用可

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・カムシャフト・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。

② マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

※純正流用キャブレターはOKです(例・XR100にNSFのキャブを使用する等)

① 排気量UPは100cc以下までです。

② オイルクーラーの取り付けはできます。(取り付けの為の最小限の加工・部品交換はOKです。)

※エンジン保護目的のシャワーヘッドカバー等の取り付けはOKです。

③ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること

※横型エンジンは111cc以下までです。(例 モンキー GAG KSRなど)

※KSRのエンジンパーツ関係の加工・交換はできません(交換・変更を行った場合は、GP100クラスになります)

4st—SF100クラス

① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません(同メーカー、同形式の純正パーツ流用はOKです。)

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。

※カム交換可とする(社外カムの使用可能)

② キャブレター・マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

③ 排気量UPは100cc以下までです。

④ オイルクーラーの取り付けはできます。(取り付けの為の、オイルポンプ&Rカバー交換 オイル通路加工もOK)但し、シリンダー交換タイプはNG

※エンジン保護目的のシャワーヘッドカバー等の取り付けはOKです。

⑤ 横型エンジン(モンキー GAGなど)は、GT100の車両規定でSP100とする。

⑥ ミッション・エアークリーナーBOX・リアサスの交換が出来ます。

⑦ フロントサスペンションのオイル・スプリングおよび突き出し量の変更、車高調整する為のカラーを追加することが出来る。

⑧ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること

⑨フレーム・外装の交換可能(タンク含む)

例 RS125にエイブのエンジンを載せて、カム交換した車両(タイヤはスリックタイヤ使用禁止)

4stーGP100クラス(スプリントのみ)

① 改造・変更は自由です。 但し、安全上問題が有ると判断された場合は走行できません。

② 排気量UPは100cc以下までです。

③ 基本仕様 ①～⑨ ⑪ ⑫を満たしていること

4stーST125クラス

① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません

② GROM125・Z125Pro・KSR110・HOPPER125(SE含む)のみ参加可能クラス。

③ ミッション関係の加工・変更は出来ません

④ マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

⑤ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること。

⑥ BS タイヤ使用の場合は追加章典を設定いたします

詳しくは、九州 ST125「ブリヂストン CUP 車両規定を参考にしてください。

⑦ KSR110を Z125Pro のシリンダー &ピストンを使用して125ccに UP は OK です。

(社外のシリンダー &ピストンの使用はできません)